

衆議院兵庫県第7選挙区

## 支部長 三木けえ



### <<プロフィール>>

- 1966年7月生まれ
- 鳴尾北小学校卒業
- 学文中学校卒業
- 西宮南高校卒業
- 関西大学社会学部卒業
- (株)大沢商会 リビング関連課営業

- 2004年 三田市議会議員初当選（2期）
- 2012年 衆議院議員初当選
- 2014年 日本維新の会 選挙区支部長
- 高校3年生の時に父親が経営する会社が倒産。三田市に引越し。その後三田で市議会議員に。
- 夫と成人した2人の子供がいます。
- 料理・書道・ピアノ・ジョギングが趣味



終身雇用制度を既定路線とする現在の制度の中では、労働市場の固定化を招き、積極的な転職活動を行うことができません。個人の能力を十分に発揮できない状況に陥っています。



労働市場改革で  
日本経済は  
まだまだ成長する

# 『日本大改革プラン』 維新が打ち出す 成長戦略

雇用に対する強過ぎる規制を緩和することで労働市場に人の流れを生み出し、一人一人がやりがいを感じられる仕事へと自由に移動できる社会の実現と、出産後や子育て終了後の女性の社会復帰への道が公平なものとなる社会を目指します。



誰もが自分の得意な能力を活かして複数の企業から特定の業務だけを請け負うギグワークや、学び直しによって夢を実現しようとする生き方をとする為に不可欠なのが、学び直しを支える教育の無償化と、離職しても生活が破綻しない為の収入保障です。雇用が流動化し、衰退産業から成長産業への人材の移動が加速すると共に自らの能力を高めながら何度でも転職や挑戦を繰り返すことができる労働市場の実現は今後の日本経済の成長を支える上で重要な政策目標です。新しい税制による貧富の格差解消と労働所得の大幅な増加、時代にあった社会保障制度によるチャレンジを引き出す、公平なセーフティーネット、そして労働市場の改革による日本経済の成長という3つの大改革によって、国民生活の質を向上し、今まさに訪れる超少子高齢化時代を力強く乗り越えていくことこそ、現代の政治に求められています。



# シンプルで力強い社会保障

## 超高齢社会と負のスパイラル

総務省の人口推計によると、今後二十年で七十歳以上の人口は27%となり、実に四人に一人が七十歳以上の社会が到来します。現在でも毎年うなぎ登りに上昇している社会保険料は今後の超高齢化と人口減少でさらに急上昇していくことが想定され、現役世代の負担は今よりスピードを早めて重くなっていきます。

働いても十分な手取り所得を得られない社会は、若者に結婚や子育てに対する大きな不安を与え、晩婚化や少子化に拍車をかける負のスパイラルを生み出しています。

## 働く世代の所得を増やす

この悪循環を断ち切るためには、現役世代が高齢者を支えるという高度成長期のモデルを転換し、年齢に関わらず資産の多い人から少ない人への所得の再分配に切り替えることが重要です。現役世代に集中している過度な負担を減らし、可処分所得を大きく増やすことで、家庭や子どもを持ちやすい社会を実現し、社会に活力を取り戻します。日本大改革プランの目玉となるベーシックインカム（または給付付き税額控除）は、複雑で不公平な給付制度を整理・統合し、全ての国民に一律に最低限の収入を保障する制度で、これまで制度の不均衡、不公平によって生み出されてきたワーキングプアの問題や、年金と生活保護



における収入の逆転現象問題など、社会のあらゆる歪みや格差を一举に解消するための切り札です。

## 制度の簡素化で

## 財源を生み出す

現在の社会保障は年金、生活保護、児童手当や失業保険に至るまで、あらゆる社会保障は、特定の条件を満たした人だけが受給できる複雑な制度です。そのため、受給の判定に多くの職員の人件費やシステム改修の莫大なコストがかかっています。これらを整理統合し、シンプルでコンパクトな仕組みとすることで、行政コストを抑え、国民が納めた税金を多く国民に還元することができ、また、制度の簡素化によって税や社会保障の適正な運用を高めていくことも重要な効果です。全ての人に申請不要で公平に支給されるベーシックインカム等を導入することで、虚偽申告による生活保護の不正受給や、反対に、制度を知らないことによる支援の網にかからず自ら命を絶つてしまふような不幸な出来事を、行政コストをかけずに根本的に解消することができ、